

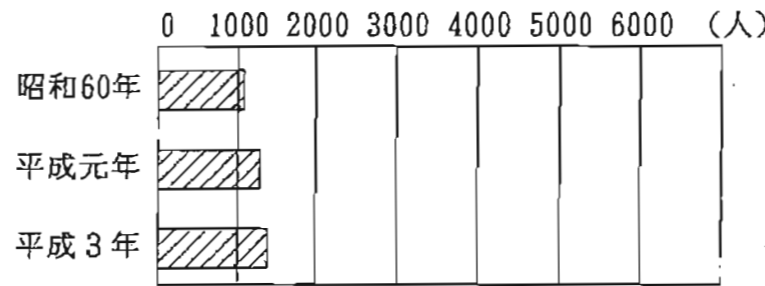
富士見市防災環境カルテ
西みずほ台2丁目町会 位置番号 42

・概況
西みずほ台2丁目町会は、富士見市の西部に位置し、町会全体が台地（台地段丘）で形成されている。北東側には東武東上線が通り、みずほ台駅が町会の北側に開設されている。北西側にみずほ台西通り線（すずかけ通り）が通り、みずほ台駅に通じている。商業施設、業務施設、集合住宅等中・高層建築物が混在しており、地震災害による中・高層建築物や都市施設の破壊は、住民の生命や財産の保全に大きな影響を与える可能性があるため防災について多面的な対策を必要としている。また、駅前地区であることから、昼夜多用な目的をもった特定の人々が通行しており、発災時の混乱など新たな危険性をはらんでいる。しかし、環境は良好な地域で、水害、地震災害の危険性は、低いと予想される。

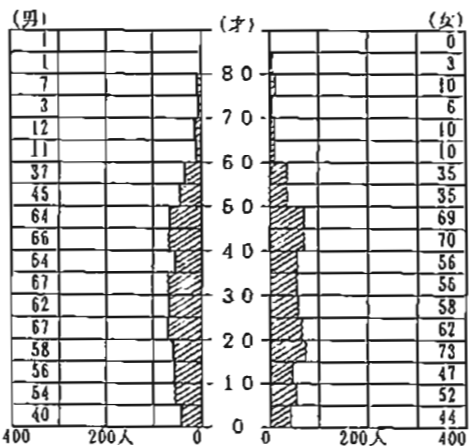
1. 基礎指標

・面積	0.071km ²
・人口(平成3年10月1日現在) 男	704人
女	707人
計	1,411人
・人口密度	19,873.2人/km ²
・寝たきり老人数	2人
・ひとり暮らし老人数	1人
・世帯数	514世帯

・人口推移

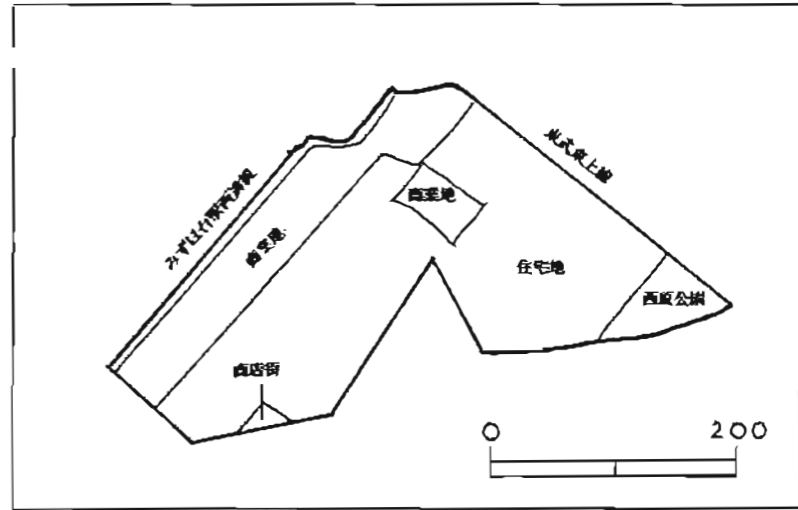


・年齢別人口(平成3年)

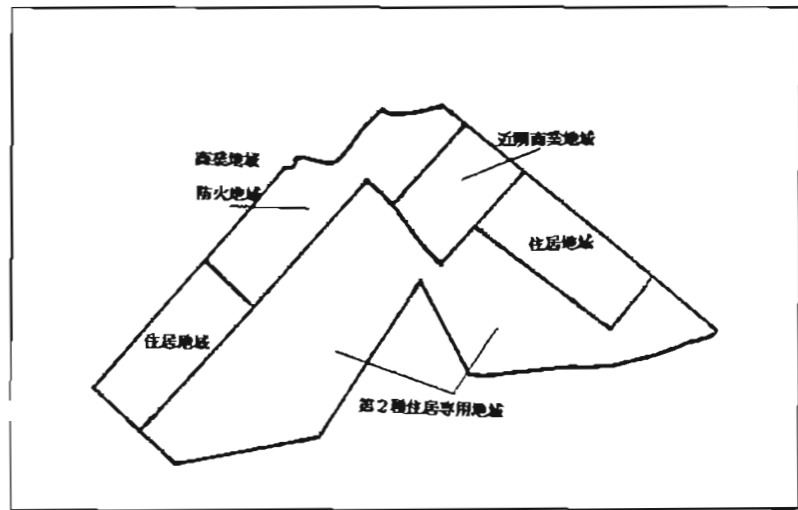


・商住工混在率住居系	86.9%
店舖系	11.6%
工業系	1.5%

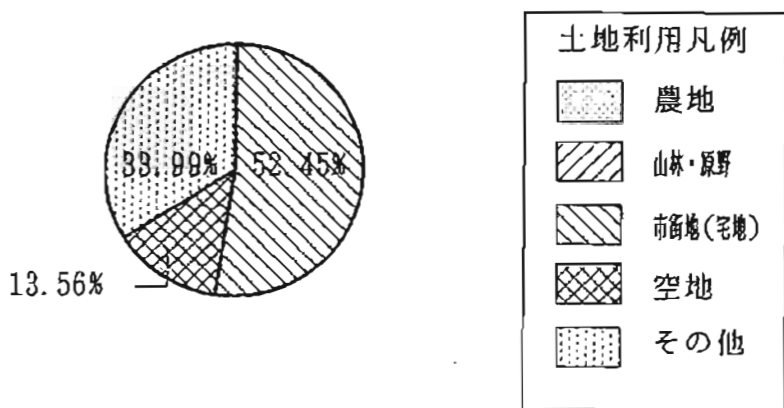
・町会現況図



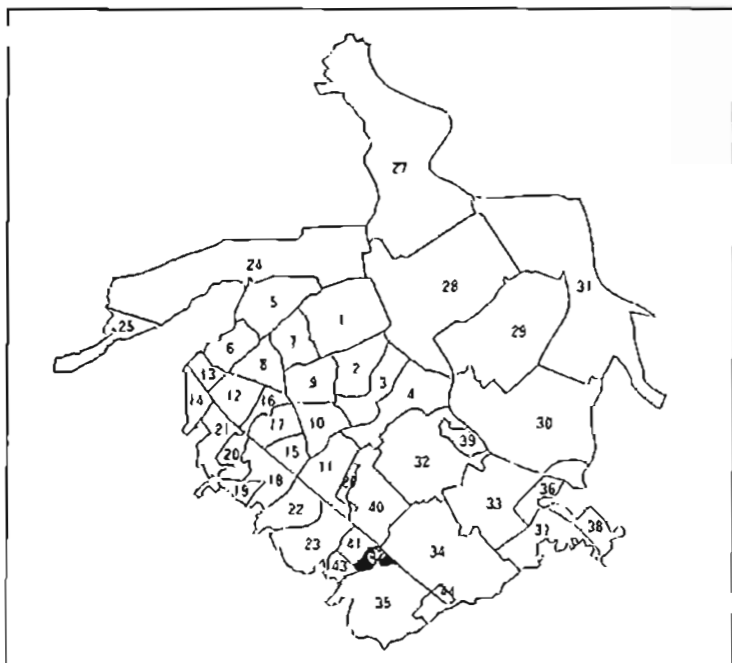
・用途地域図



・土地利用現況



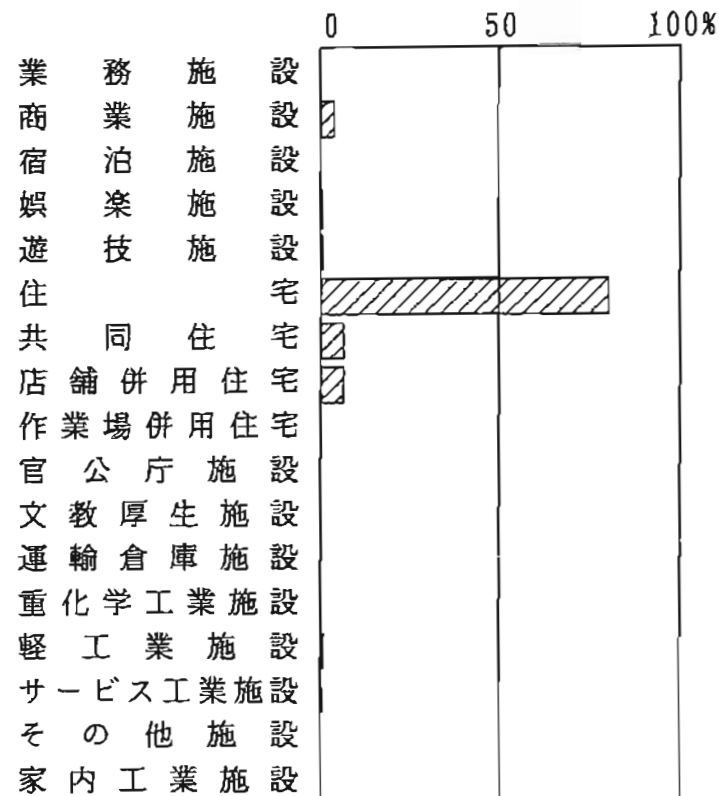
・位置図



2. 建物指標

・建物棟数	347棟	
木造建物	33棟	
非木造建物	314棟	
・建物面積	15,398.60㎡	
木造建物	1,425.60㎡	
非木造建物	13,973.00㎡	
※建物面積は1階の面積		
・住宅率	79.3%	
・木造率	9.5% (33棟)	
・昭和34年以前の木造家屋実棟数	0棟	
・同上率	0%	
・建物階層別現況(木造建物)		
1階	33棟	100.0%
2階以上	0棟	0%

・建物用途別現況



3. 道路空地指標

・道路率	16本	225.3本/㎢
・幹線道路率	3本	42.2本/㎢
・公共空地面積	3,000.0㎡	
・公共空地率	4.2%	
・1人あたり公共空地	2.1㎡/人	
・公共空地内容(*指定避難所)		
名称	面積	
1. 高校	0㎡	
2. 中学校	0㎡	
3. 小学校	0㎡	
4. 公園	0㎡	
5. 西原公園	3,000.0㎡	

4. 消防指標

所轄消防署	入間東部地区消防組合富士見消防署 所沢市、川越地区消防組合、 応援協定 新座市、志木市各消防本部
・消火栓本数	9本
・1消火栓あたり世帯数	57.1世帯/本
・消防水利貯水施設数	19 (7) か所 ()内は容量40トン以上の施設数
・消防団機械器具置場	0

5. 危険物指標

・給油取扱所	1か所
・一般取扱所	0か所
・屋内・屋外(タンク)貯蔵所	0か所
・地下タンク貯蔵所	0か所

6. 既往災害

・家屋浸水被害	床下	床上	道路冠水
昭和 年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
年 月 ()	棟	棟	か所
・崖崩れ被害 (年 ~ 年) 0件			
・火災出火件数 (年 ~ 年) 0件			
・1923関東大地震被害			
家屋全壊	0戸		
家屋半壊	0戸		
被害率	0%		

7. 防災基盤施設

消防	0か所	
病院	0か所	
医院	0か所	
休日診療所	0か所	
警察	0か所	警察署 派出所
水防施設 その他の施設	0か所	
・自主防災組織(数)	0	
・自主防災組織参加世帯率	0%	
・飲用井戸本数	0本	

8. 危険度評価

・内水災害危険度	0ランク
・外水災害危険度	0ランク
・土砂災害危険度	0ランク

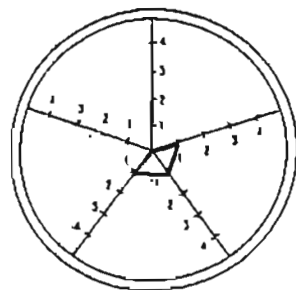
・木造建物被害危険度	1ランク
・木造建物出火危険度	1ランク
・木造建物延焼危険度	1ランク

地盤 危険度	地盤の地震動 危険度	1ランク
危険度	液化 危険度	0ランク

※ 危険度評価ランク

危険度	無	微	小	中	大
ランク	0	1	2	3	4

内水災害危険度



木造建物被害危険度

液化危険度

木造建物延焼危険度

木造建物出火危険度

※ 想定震度 5(+) (強烈(強))

9. 地盤条件

地盤は、町会全体が台地（台地段丘）で硬い。地震は、震度5(+)（強震の強い方）が予想される。

10. 問題点の整理

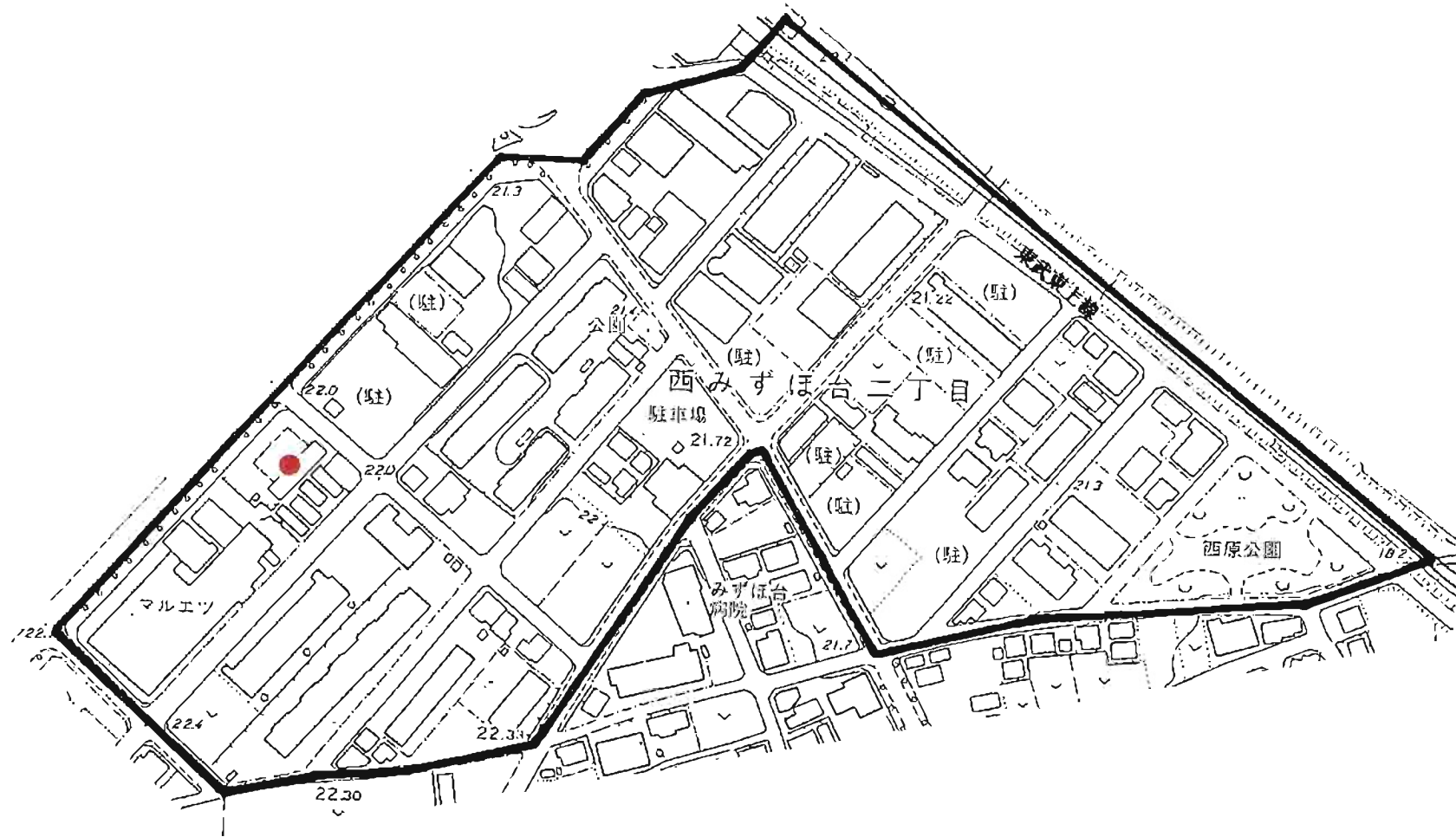
災害発生要因		災害抑止要因	
1. 内水災害	無い。	1. 水防能力	水防施設は無い。
2. 外水災害	無い。	2. 防災組織	無い。
3. 倒壊危険	地盤条件が良いので倒壊の危険性は低いと予想される。	3. 消防能力	世帯数と比較して消火栓は少ないが、消防水利貯水施設は十分と思われる。
4. 出火危険	出火の危険性は低いと予想される。	4. 防火能力	みずほ台駅南口付近を中心として、商業施設、業務施設、住宅地の不燃化が促進され、都市防災に強い街づくりが進められている。
5. 延焼危険	延焼の危険性は低いと予想される。	5. 避難収容力	町会内には指定避難所はないが西中学校（西みずほ台3丁目町会）を共用する。町会内の地震火災の危険性は低いと予想されるので、収容力は十分と思われる。 1人あたりの公共空地は2.1㎡/人と見込まれる。
6. その他の災害	無い。		

11. 解決の方向性

避難可能な道路は、商業施設、業務施設の広告塔、看板の落下物の予防対策指導が望まれる。商業施設（不特定多数の住民が集る商業ビルなど）、業務施設（みずほ台駅ビルなど）、集合住宅（マンション、アパート）の中・高層建築物の防災対策、地震対策は、①火種の管理、スプリンクラーの設置 ②建物ごとの防災センターを中心とした防災情報（火災の感知、通報、避難誘導等）の一元管理 ③居住者や管理者の防災知識の普及 ④工作物の安全性の確保等の対策指導が望ましい。

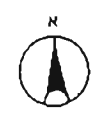
※工作物とは、一定規模以上の独立煙突、鉄塔、広告塔、高架水槽、エレベーター・エスカレーター、擁壁等構造耐力上の安全性を確保するために、建築基準法の規定が準用されるものをいう。

防災現況図A(災害発生要因)



凡 例	
●	給油取扱所
■	一般取扱所
⚠	危険物屋内タンク貯蔵所
⚠	危険物屋外タンク貯蔵所
⚠	危険物地下タンク貯蔵所
▲	L P G 充 填 所
△	橋 梁
▽	横断歩道橋
△	立体交差
□	木造家屋密集地域
—	河川・水面
⚠	急傾斜地崩壊危険区域
■	盛 土
□	浅い谷・低地(谷底平野)

既往浸水域(平成3年台風18号)	
■	田の浸水地域
■	田の被害区域
■	畑の被害区域
■	床上浸水地域
■	床下浸水地域



防災現況図B (災害抑止要因)



凡 例	
	消防署・出張所
	消防団機械器具置場
	水防施設
	防火水槽・プール
	警察署・派出所・駐在所
	市役所・出張所・公民館
	防災行政用無線子局位置
	コミュニティ集會施設
	保健所・保健センター
	病 院
	医 院
	休日診療所
	指定避難所
	公 園
	河 川・水面
	避難可能な道路
	幅員12m以上の道路
	幅員12m以上の道路 (計画中)
	学 校 (小・中・高)
	空地・水田・畑

